

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－13）、MOX燃料加工施設（1－13）」

2. 日時：令和3年2月24日（水） 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株)

大久保 理事 再処理事業部副事業部長 他19名

北海道電力(株) 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 担当

東京電力ホールディングス(株)

サイクル技術グループ グループマネージャー

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 課長

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループ 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

- ・ 令和 3 年 2 月 1 5 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 2 月 1 7 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 2 月 2 2 日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	そしてとかの充実、それでは日本原燃との設工認申請に係るヒアリングを
0:00:11	始めます。
0:00:13	本日のヒアリングは録音して公開するため発言の際は所属と名前を明らかにした上で発言するようにしてください。
0:00:24	また不開示情報発言した場合は、当該箇所を特定して訂正するようにしてください。
0:00:30	規制庁側の出席者はコサクツガネキシノハバサキ、カミデとなっております。また日本原燃の円出席者の紹介をお願いします。
0:00:43	スズキ 日本原燃大久保でございます。本日のヒアリングにつきましては5件の資料を御説明する予定でございます。先に起電関係の2件の資料を御説明させていただきたいと思っております。期限関係の参加者につきましては、
0:01:02	再処理事業部の佐川菊地芳な付け側、この4名で対応させていただきます。建物関係につきましては建物のパート御説明するときに、改めてまた御説明、御紹介したいと思います。以上です。
0:01:20	規制庁込みです。わかりました。あとすみません規制庁側の出席者でモリノかけてますので、追加します。
0:01:27	計
0:01:28	トモニのタケダですね、追加します。
0:01:32	それでは機電側の資料ということで、資料のほうは例は3年2月15日付で提出された延長方向の動的地震力を考慮による設備のうち、浮き上がり等の影響についてというものと、
0:01:49	合わせて同日2月15日付の耐震Sクラス設備の耐震計算書におけるSDB評価結果の記載をという資料について確認します。
0:02:05	この資料と、あと、ロジックペーパーというものをですね、2月24日づくりへ提出いただいてまして、中身はほぼこちら呼んでますので、格別説明は要しない。
0:02:20	ものなんですが、日本原燃として何か補足で説明することがあればお願いします。
0:02:27	はい。
0:02:29	日本原燃サービスで補足の説明ではないんですけども先ほど提出しました二つの2月15日に出した資料の方ほうですね、これ大変申しわけないですお詫びといたしますか。はい耐震.09のある1例では3年2月15日、ここで失礼しましたSD評価結果の記載。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:49	ここという資料なんですけども、ちょっと中身が先ほどカミデさんの方からあまりないってところにもかかわらず、学長がちょっと一部ありました大変申し訳ございません落丁の部分といいますのが後ろにつくはずの別紙という形で記載こういうふうに記載しますよという例をつけたものの体裁の修正をしたものを
0:03:09	つけるはずだったんですけどもそこについて落丁しました申し訳ございません。これにつきましては本日、本日提出する予定の資料で生計2方向の資料とかありますので、そことあわせて、本日提出するということで考えてございます。申し訳ございませんでした。
0:03:28	はい、規制庁カミデです。それでは耐震起電01の資料について確認したい点があるんですけども、01の資料もゼロ強震共通なんですけど、全体の構成の話ですね。
0:03:46	建物側と相違があって、基本的に冒頭の弁が主になるんですけど、資料の位置付け、あとは次回で何を申請する何を説明するかといった書き方については、
0:04:03	構成を合わせるようにしてください。それは0109共通の指摘なので
0:04:12	合わせるように、どちらに合わせるかはそちらで検討してもらえればいいんですけどあの構成について統一を図りをしてください。
0:04:23	日本原燃さんはです。了解しました。
0:04:26	はい、規制庁カミデです。そういうことなので、先ほど落丁があったという耐震継電09なんですけど、
0:04:36	別紙が入ってもですね、今のようなコメントは結局出ることになりますので、そういう構成をも直した上で、再度提出いただければと思いますがいかがでしょうか。
0:04:52	ごめんね佐賀です了解しました、今、今すぐとか支給と県と調整します。
0:04:59	規制庁カミデです。わかります。その上で本日出せるのであれば出しただければと思います。
0:05:05	あとですね、その01の資料なんですけども、
0:05:11	一部の設備、あのクレーン等ですね、については従来評価以上の対応が必要となる可能性があるというような記載があるんですけども、
0:05:25	何か何かこのに切らないような書きぶりが気になっていまして、次回も含めてですねきちんと説明をする上で確認方法クレーンは、こういう確認をしますと、行った上で、詳細の結果については近いというようなするか。
0:05:46	項目項目だけでもですね、先に話をこういう表高圧でしますと、日切るような形で、資料作っていただければと思いますがいかがでしょうか。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:59	はい、日本原燃さんはです。ただいまの御指摘に対しまして、本日お出ししているロジックペーパーを少し見ていただきまして、なぜこういう記載にしたかっていうところと、こう直しますというところを少しお話しさせてください。
0:06:13	時ペーパーの2月24日提出の耐震起電01っていうところですね。
0:06:19	はい。ここの三つ目の丸のところなんですけども、ここにちょっと今何をやるかっていうことを書いてますんで何をやるっていうのは、近畿設工認時に実施していないというところで、これについては、クレーンのワイヤロープのところの張力っていうところの確認をしますっていうことで今回書いてます。
0:06:38	これを本資料に書くべきだったんですけどもこの時点で書かなかった理由といえますのがトーカイさんでこれやってるのはワークしてました。誤開さん以外にも、ほかに何かやってるところがないかっていう追加調査をしましてワイヤロープだが、うち2口というか、経営者に対して必要というところが特定できましたので、
0:06:58	で、ここに記載しましたのでカミデさんの御指摘踏まえまして、今の次回で何を示すかっていうところははっきりと明記するようにします。
0:07:07	以上です。
0:07:09	はい、規制庁加盟するわかりました。その点、資料2班いただければと思います。
0:07:15	その他規制庁側から何かありますか。
0:07:22	よろしいですかね。それでは駅伝剛体新規地点0109については終わらせていただいて、
0:07:32	次の資料は
0:07:36	耐震建物の中で提出年月日側では3年2月17日、地震応答解析モデルに用いる鉄筋コンクリート造の減衰定数に関する事で、またこれに合わせてロジック低下して2月24日付で
0:07:54	築堤パーティー先というものになります。これも特段の説明は要しないんですけど、日本原燃のほうから補足的に説明した事項があるか、お願いします。
0:08:09	日本原燃の船越です。よろしくお願いいいたします。建築関係、それからMOX関係の出席者を最初に来へ申します。フナコシ当貸浦和や市フジワラ菅原
0:08:25	河成位の上、町だ高橋北村
0:08:31	以上が建築耐震関係10名です。続いてもくさ関係ですが、
0:08:37	タカマツタニグチ、イシハラ鮫島
0:08:42	以上共鳴ですよろしくお願いいいたします。
0:08:48	日本原燃通してございます。基本的にこちらのほうを先ほど皆さんから御紹介のあったところでございますけども、基本的に研究減水乗数に関する基本ロジ

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ックを踏まえまして、あと補足関係資料のほうを提示しているといったところになってございます。
0:09:05	内容に関しましては基本的にこちらのほうのロジックでバーに記載している内容テーマ基本的な部分といたしまして、コンクリートの材料減衰につきましては5%といったところを発電炉の知見及び当社のシミュレーション解析等をもちまして5%というような形のほうで設定しているものになってございます。
0:09:23	ただし、MOXに関しましては、卸ペーパーの下側のほうに記載させていただいてございますけども、キリンからの実績としまして、RC部の減衰といったところも3%で申請させていただいてるといったところを踏まえまして、今回まだ建設中といったところもございまして、
0:09:40	特段こちらのほうの3%で資金化で申請してる内容のところを返る部分のですね明確な根拠といった部分はございませんでしたので、
0:09:49	基本的な減衰定数を5%といったことが基本であるということを考えてございませんですけども、既認可の史跡っていったところを踏襲いたしましても苦痛につきましては3%で申請させていただいているといったところでございます。当社からの説明としましては以上でございます。
0:10:05	はい。規制庁カミデです。まずですね全体全般的な考え方でよくわからないところがあって、その5%と3%をそれぞれ使うということなんですけど、燃料加工建屋で、
0:10:21	3%を使うということが技術的に妥当なものとして、3%とするか、その他の理由なのかというものが語られていないように思えてですね、その辺りの考え方をもう少し説明いただきたいんですが、
0:10:46	はい、日本でどうしてでございます。まず技術的な観点のほうからいきますと、燃料加工建屋につきましても、今月補足のほうで御用意させていただいております。減水乗数に関しての他プラント及び
0:11:02	当社のほうでのシミュレーション解析に基づくものといったところを考えますと、技術的な解釈でいきますと、科目に限ってもですね基本的に発電炉と同様な形のところで基本的には壁式構造であるといったところであったりとか、数字の入力地震動レベルこういったものを総合的に考えますと、
0:11:22	5%の方の内容のほうの減衰定数を用いるといったところが技術的な部分としましては、5%というところで考えてございます。ただ、もう複数に関しましては建設時におきまして元帥に対しましては5%といったところのベースでは考えてはいるんですけどもただこちらの
0:11:42	以降が、当時の設計判断といたしましてまあ保守的な設定といったところをかんがみて3%で申請したといったところの経緯がございました、例えば今回こ

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	こちらのほうの新規制基準の大間設工認オーバー申請するに当たりまして技術的な判断で現時点におきましてパーセントといったところの妥当性っていう
0:12:02	ところが当社といたしましても、最初に含めましてもくそも含めてさ、5%であるといったところは共通の認識でございましたけれども、当市において牧草当初にですね、こちらのほうを当時において少しその5%から一段組織保守的な設定といったところ3%申請していたと。
0:12:22	所の経緯を踏まえて、MOXに対しては3%という量が集計の方で、
0:12:27	申請のほうをさせていただいているといったところでございます。ですのでも工夫に対して技術的には基本的に5%といったところが、他のプラント及び再処理等含めての総合的な部分としては5%であるというふうに認識してございます。木製に関しましてはその他の要因としまして申請しにおいて、
0:12:45	5%から保守的に見た3%といったところで申請しているといったところの特重を踏まえまして、今回の新規性基準におきまして3%で申請させていただいているというのが
0:12:58	現在の当社の整理でございます。以上です。
0:13:03	規制庁カミデです。ありましたそういった考えがまず資料に反映されていないので、修正にあたってはその点も盛り込むようにしてください。それで今の考え方で言うのですね。ロジックペーパーの一番最後の
0:13:21	の部分のところ少し整合しないようなことになっていて、何かと言うとその地震観測記録がない。
0:13:31	という点からも3%としてますということがあるんですけど。そうするとですね、冷却塔の基礎もそこに進路系があるわけでもないし、建家でもないし、
0:13:47	いうところがあって、そうすると冷却塔も3%なんじゃないかというようなふうにも読めるんですけど、先ほど説明のあった通り、
0:13:59	原則、技術的なも5%でいいであろうということがベースになり、もう個数については既工認の経緯があるのでサンプ保守的なものとして、3%としているとそういう考え方でよろしいんでしょうか。
0:14:18	日本原燃通してございます。今カミデさんのほうでおっしゃっていただいた上での考え方基本的には既工認といったところでの3 / 技術的には5%でございますけれども、既工認との連続性といったところを今回重く見て3%にしたといったところが、基本的な部分ですので、こちらのほうで及びのほうで記載させていただいたところと、
0:14:38	ましては来工認といったところをやはり重く見ないといけないということがございまして技術的に起こっていたところがあったんですけどもその機構に3%

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	といったところで申請しているという事業者の考え方がございますので、そちらを変更するにあたってはやはりもう一つ何か表段階も、
0:14:55	MOXとしての確認拡張みたいなのがないとなかなか変えづらいのではないかと いったところでの社内の議論がございましてそういったところで一つの尺度として あるのが、将来的にこういったところの地震観測記録みたいながあるとその 3%から5%への見直していうところも
0:15:12	あるのかなっていったところで現状こういったような記載の方さしていただいたっ ていうところでございますけども、原則としましてはMOXに対しての当社としま しては5%が基本であるといったところは、そこは現在段階によってを技術論と しては%だといったところでございます。
0:15:28	はい。規制庁カミデです。今慌て先ほど私が確認したような考え方であるとい うことであれば資料に反映すべきはですね、まずは、なぜ既工認において3% 設定したかと。
0:15:46	いうことを、なぜという部分もきちんと明らかにしてください。
0:15:51	また5%に対して3%が保守的であるというのは感覚的にはそうなのかもしれ ないですけど、その部分についてもきちっと異論を理論立てた説明をしても らってですね、
0:16:08	それで3%でいいんだということを資料にあらわすようにお願いします。
0:16:17	。
0:16:19	コメントしてございますが内容のほう理解いたしましたので資料のほうに反映 させていただきます。
0:16:26	規制とか技術課の続けて何点かコメントというか、確認ですけども、例えば6 ページなどですねについては、元帥の話があって、冷却等々その燃料加工建 屋について記載があるんですけど。
0:16:45	資料の位置付けとしてはですね、これ再処理管理MOX、すべての
0:16:52	に対しての話だと思っていますので、この限定の二つに対してこうだとい うのではなくて、再処理等管理の建物構築物については、5%、燃料加工建屋につ いては3%。
0:17:10	という使い分けだと思いますので、資料の構成全般的に限定かかったような 形になってるんでそうではなくて、全体を見通した形で記載いただければと思 います。兵庫でしょうか。
0:17:27	日本原電のフジワラです。6ページの件承知いたしましたの適用範囲全体とし て資料の記載のほう見直しいたします。
0:17:35	規制庁かみさんの6ページは0としていただけで資料全般としてのコメントの でお願いします。はい承知いたしました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:46	あと私のほうからは、最後にしますが、13ページのところです、出頭しても13ページ。
0:18:00	このなお書きのところですね、
0:18:04	実用炉との類似性を株式RCなので、
0:18:09	そういうだけであるんですけども、ちょっとすぐそれだけでチダというのはあまり説明です。このあたり御説明補強していただきたいと思います。
0:18:25	日本原燃の保証でございます承知いたしましたの類似性のところにつきましては記載のほう充実して、理由のほう追記したいと思います。以上です。
0:18:34	はい。
0:18:35	すみませんあともう1点、規制庁関係ですけど。
0:18:39	全体の考え方というか編集の仕方として、先方の実用炉と地震観測記録って、元帥の程度を確認しているというのがあるんですけど、今回ですね。
0:18:55	やはり5%を計画で作業しているということであれば、テーマたMOXも基本的には5 / 実績妥当なの。
0:19:06	説明なのであればですね、再処理の他の建屋でとれた観測記録。
0:19:14	の確認で建物建屋と今回申請範囲の類似性という説明してですね。
0:19:22	実際の観測記録の観点からも / こうなんだという説明を加えていただければと思います。
0:19:34	はい承知いたしました。ええと再処理のこの建屋がありますが、観測記録を踏まえた妥当性のほうに追記したいと思います。その際にはその他て代表する建物がほかの建屋に適用できることも類似性といいますか。
0:19:49	構造的な特徴についても考察を記載したいと思います。
0:19:55	よろしくをお願いします。
0:19:58	規制庁方からあります。
0:20:05	規制庁阿部です。
0:20:09	資料の49ページ。
0:20:12	うん。地震応答解析モデルという条件で減衰定数の考察ということで部署があるんですが、基本的には先方の重要度に合わせたようになって、ここが、この49ページはある意味、基本なんて思うんですけども、
0:20:29	先ほどらい話が出てますように、今現在の資料っていうのは地震観測による元帥同数の妥当性っていう観点です。
0:20:43	今日見てびっくりしたのは基本トリップや分離建屋についてシミュレーション行われてって感じでちょっと基本の軸に書いてあるのになぜこちらではないだろうというふうに思っていて、先ほど課税褒めてもらったようにですね、私シミュレーションのも踏まえても、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:00	現在設定している減衰定数をやるというところを、49 ページに記載をしてください。それと後先ほどパブリックページのまとめのところ、ここで最後のボックスを文章が非常に気になっている。
0:21:17	既設工認における設定を踏襲して3%。
0:21:22	ただ、これだけの理由ではですね、非常にデイトンクだというふうに考えますが、先ほどあったように、保守放流するだとか、氏名照会現状まだ鉄柱ないためというような、ちゃんとそういう声共謀軸のほうに書いて
0:21:40	やっぱちゃんとそこにちゃんと整合するような部署にしてもらいたいというふうに思います。まずは、いかがでしょうか。
0:21:47	すみません、規制庁コサクです。
0:21:50	今のコメントはカミデタナカずれるような気がして、
0:21:56	見てのほうはロジックペーパーで書いてある及び現在建設段階は、
0:22:03	あまり意味がなくて、
0:22:05	%でいいんだけども経ったら%使えるということを書いてくれと。
0:22:11	いうだけだったんですけど、この地震観測記録はなくてシミュレーションができてないからって理由が入っちゃう。
0:22:18	新設のものはすべて3/できてないみたいになっちゃう。
0:22:23	その辺りの考えは、
0:22:27	我々も考えてましてですね。
0:22:31	はい。
0:22:33	1棟ハバサキですけども、この3%等を実施するっていうのが、ただその既設孔Dを踏襲したっていうだけでいいのかどうか即応としては、
0:22:49	規制庁、古作です。その点はまず、
0:22:53	次が何で3%っていうことも考えちゃった。
0:22:58	整理してくださいっていう。カミデの
0:23:01	指摘があるので、
0:23:03	その対応を踏まえてだと思んですけど、いずれにしてもちょっと
0:23:07	事前に打ち合わせしてると思うんで、我々の指摘確認事項っていうのはちゃんと連携をとってVoiceとして提示していただだけませんか。
0:23:19	規制庁、浜田リース料がしました
0:23:22	既工認でのその3%でしたかっていうのも、情報を踏まえて、さらにクリックすればどうかについて確認としたと思います。1部しては、
0:23:35	そういった資料事業者から止めるということで了解しました。
0:23:45	ちょっと
0:23:48	規制庁カミデです。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:51	先ほど私が日本原燃確認したように、まずロジックバックチェックまで説明されているのか。
0:24:00	確認した考え方に従って資料修正の確認者内容っていうのは、地震ポンプな
0:24:12	いうことですので、本県ではそういった形で来修正していただければと思います。以上です。
0:24:25	とりあえず
0:24:27	あとは、
0:24:29	において通してございます。
0:24:31	当社としての位置付けの考え方のほうですねトーモク数の部分につきまして、どうして3/5%ではなくて3%にしているんだといったところに関しましてマーケティングでの考え方、こちらのほうを整理したものでまとめのほうに患者さんからコメントも踏まえまして
0:24:49	追記するような形にしたいとさせていただきますのでよろしくお願いいいたします。
0:24:55	規制庁辺りですそう資料をまず確認させていただきます。それとちょっと次の指摘になります。
0:25:04	53 ページから各バリエド
0:25:10	農村減衰のなんていうことで 57 ページに結果が出てます。
0:25:17	今一番までによる減衰効果が支配的だというような資料にてますので、これ同じ評価をお出かけ基礎については、あれはいいですよ。
0:25:36	日本原燃による
0:25:40	日本原燃土井です。冷却塔についてはちょっと現在、追加で実施 10 でしたて補正に人が間に合えば、
0:25:50	セール手はずであるんですけども、一番最初に、今提出した段階ではちょっとこのマニュアルませんでして、建家で株主構造ということで今回申請のもので燃料加工建屋だけで良かれということで、
0:26:10	出したんですけども時では
0:26:15	冷却塔についてはもう載せようかと思っております。またちょっと先の話にはなるんですけども、次回の申請についてなんですけれどもそのときには、全部これを載せるということは考えておりませんで、
0:26:31	建家としては燃料加工建屋とあともう一つ
0:26:38	シミュレーション解析を行っている分離建屋について乗せることを考えておりまして、来書きさておいについては冷却塔の基礎、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:48	だけど代表させて他は機械基礎ということで1枚ペラで構造的にはノも変わらないだろうという整理のもとで代表して載せようかというふうに考えております。以上になります。
0:27:03	委員長萩田です。説明に対しましたやはり先ほど40ページにまとめが多い。フクダっていう話をしたんですけれども、
0:27:13	やはり地盤ばねの減衰等方法で情報の研修の方から相対的なものを収益は、
0:27:22	原子炉建屋にサトウ試料の目標年度建屋はやはり同じようなロジックすぎると思うんですけれども、この機械基礎のような
0:27:31	また番目後これから出てくる再処理して普通の中身はいろんな平常だとかを入れた状態とか地盤条件が違うものがあると。
0:27:43	本当にそれで一括RCCW%分布のかどうか、そこをもうちょっと
0:27:52	図面も含めてました課題というふうに思っていますので、そこら辺の構造だとか地盤条件だとかも踏まえても、オオハシに対しては5%で問題ないというような代表の選び方であったり、この検討内容のほうの
0:28:11	振興といいますかね、言い方をして参りたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。
0:28:21	日本原燃の例で承知いたしました。資料のほう、修正していきたいと思います。以上になります。
0:28:30	規制庁ハバサキですが、私の方は以上であります。
0:28:39	です。
0:28:40	はい。
0:28:41	今もお話なんですけど。
0:28:45	各コードについてとカミデハバサキ
0:28:50	説明のあったと思いますけれども。
0:28:55	先ほど41ページ、今回それが、
0:29:02	方向分割の5%を妥当とするというのが40についても、1パラグラフ、
0:29:11	トップますけれども、構造の速度層ということを議論の予算編成上も、
0:29:20	この辺りが5%以下とする根拠としてはそれほどパルスのようになって
0:29:29	一方、%オーダーのポンプ方法も
0:29:35	この後藤ほかカミデからって変わるし、
0:29:39	コンパクションを
0:29:43	というようなことを確認することもありますけど、交付簿という観点でこの操作はございます。
0:29:51	地盤の安全性、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:54	できれば、
0:29:57	現場の各コンテンツを含めて、アボ%は
0:30:06	この
0:30:07	今回御説明基づく工夫がないと。
0:30:11	コメントをいただきたいと思います。
0:30:14	よろしいですか。
0:30:19	はい。日本での保証でございます。4目標につきましてはご指摘の通り構造の複雑さといったものはございませんので、その辺りも踏まえた5%とした設定の妥当性について考察のほうに記載したいと思います。
0:30:43	今月性等をちょっと
0:30:49	規制庁モリノです。
0:30:51	60ページから68ページのところにせん断ひずみとそのための
0:30:58	グラフを載せていただいているんですけども、
0:31:02	これはですねスケルトンカーブの第1折点まで行ってないのっていうのがSsとか1.2整数でもう
0:31:12	そういうなりがあって、これを見てもという体調で第2折点の間に行っていないので、中を現世の数が3%っていうのがアボ%に比べて保守的率要求説明をされてはいるんですけども、
0:31:30	むしろ3%の方がもともと妥当だということですね、ページのほうで、
0:31:35	判断したじゃないかっていうような依頼をするんですけども、
0:31:41	このですけれども、その出ている。
0:31:48	言ってるっぽいんですね、それと遺伝性影響要素3パーセント%の関係っていうのも
0:31:56	説明に来ていただけますか。
0:32:04	日本原燃井上です。ちょっと今回の資料には載せていないんですけども、先ほどからお話に挙がっております。分離建屋になりますけれども、シミュレーション解析のほうを当社のほうで行っております、
0:32:19	そのシミュレーション解析に用いている地震還付非地震の観測記録が実際にこの弾性設計用地震動SDよりも、さらに小さいもう全然弾性域の記録を用いたシミュレーション解析を行いまして、
0:32:38	で、その応答レベルでの結果からで5%が観測記録と概ねよく対応しているという結果が得られておりますので、それよりもさらに取れるの大きくなってくる。SDSS1.2Ssに対しても、
0:32:57	5%でよかるうという、我々のロジックになっておりますが、ちょっとこの資料では先ほども申し上げております通りシミュレーション解析のほうが載せておりま

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	せなので、ちょっと誤解を与える構成になってしまったのかとは思いますが、 に関しては、
0:33:15	補正時のシミュレーション解析のほうも追加してSDとか平成すで第1折点超えてないところもありますが、我々としては5%で妥当であるというふうに低下し会社ものにさせていただきたいと思っております。以上になります。
0:33:35	規制庁モリノです。説明の内容はわかりました。修正された資料をもって確認したいと思っております。
0:33:43	以上です。
0:33:48	ちょっとですけども。
0:33:52	自分たちで示されているということで、それも就職のあっせん
0:34:01	ループ数で整備し、
0:34:09	政府保証する。
0:34:13	下側の配布ですが、この今説明のシミュレーション。
0:34:25	和久里設けられて、今度は保障して御説明をするというところ。
0:34:41	日本原燃においでです。
0:34:44	49ページのロックウールおつ3-1表の当理事長振幅領域っていうのが、
0:34:52	リード微動地震動のようなものを後者のほうで考えておまして、地震観測記録は、この表で言うと、第1折れ点未満のところ当たってくるもの。
0:35:09	整理でありましたので、この微小振幅領域のところはそういう理由でちょっとバーにさせていただいたという整理で、
0:35:19	はい。
0:35:24	49ページの証書交付をしたあんまり方。
0:35:32	を教えてください。
0:35:39	はい。
0:35:50	はい。
0:36:07	規制庁の管理です。日本原燃聞こえてますか。
0:36:11	日本円でございます。少々お待ちください。
0:36:25	それと注水ちょっとご説明いたしますと、鉄塔の収縮領域っていうの火線行動することになっちゃうサトウされてると思いますが、これは今、このレベルとしてそれはそれ以前の規模が大きい。
0:36:42	参考にされてる予定織り込むかなというふうには推察しております米国する一方で、系統抽出教育について何か今後進めていくというような考え方があるのかなという項目を放り込んで考え方なりこの店舗っていうのが、
0:36:59	あるんでしたら教えていただきたいという趣旨でございます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:04	40 円投資してございます。私が今キシノさんおっしゃられた通りの通りでございまして当社はこちらのほうの資料、さくっていく上に当たって先行電力さんのやつをちょっと細かくちょっと見ている中でPdタケダさんの方。
0:37:19	先行の電力さんのほうで微小真空容器っていったところもございましたので、表の形式としましてはちょっとこちらのほうの先行の
0:37:29	左のほうを参考にしてこちらのほうを作成していたといったところが実態でございましてから仰ら二通り載ってるんで当社のところでいきますと、それよりも少し大きなレベルで検討を実施してございますので、普段こちらのほうの微小振幅レベルに対して、
0:37:44	あまり、この部分での考察といったところを考えてございまして、どちらかという第1折れ点未満の部分としての締め紹介つけたとの整合性といったところでの整理といったところを考えてございまして、ちょっとこちらのほうの表につきましては、その位置付けていたところですねちょっと再度、
0:38:01	見直しまして表の形式もですね、少し直させていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。
0:38:08	配付ましたという。
0:38:13	今後の説明も同じように、
0:38:16	例えば、
0:38:22	読めとか消火栓。了解いたしました。
0:38:26	規制庁ハバサキなんですけどちょっと今の関連するんですけども、先ほど来出てるシミュレーション解析で配属している児童の地震動の大きさを何Galぐらいの
0:38:40	地震動なんでしょうか。
0:38:50	日本原燃のが当初でございます。地震の規模レベルとしては環境として30から40Galぐらいの地震動の大きさのレベルです。
0:39:00	規制庁ハバサキです。三、四十があるが、韓国記録としてはほぼ人というふうに理解して、
0:39:09	そうですね / オオハシでございます当社の記録の中で、よりそれでも大きめの記録というような形のほうでとれているものの中で示しの解析を実施してございます。
0:39:21	規制庁阿部です。了解しました。
0:39:36	政党があります。
0:39:42	規制庁の武田です。そこだけ確認させていただきたいというか、12 ページ目の
0:39:49	10.5 復元力突風発行利率減衰の設定も行ってると。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:56	ここでM 関係についての記載があるんですけど、これは今回のモデルで使用するのでしょうか。また次回、これは終了する予定なののでしょうか。
0:40:14	日本原燃いっぱいです。AMファイルについてもIM範囲についてなんですけれども今回燃料加工建屋について設定しておりますので、12 ページの行目のなお書きに書いてありますけれども、
0:40:31	安全冷却水系冷却塔の基礎部については、からいっぱい活躍の5の教員力特性は設定しておりませんのでまた二つ目のご質問になります他の建屋についての適用なんですけれども、
0:40:46	建家については、先輩も権力特性を設定しております、冷却塔のような人だけのものに関しては設定しておりません。以上になります。
0:41:01	わかりました。では、建屋モデルや、
0:41:06	今は適用されているという。
0:41:11	浅部モデルです。
0:41:15	しました。
0:41:17	私のほうから確認あります。
0:41:23	ちょっと、
0:41:24	いろいろ議論を
0:41:27	私最初に申請範囲として、
0:41:34	を伝えてますけども、
0:41:37	この資料は、やはり第1回で説明しているというようなつもりで今後資料化をしてという理解でよろしいです。
0:42:02	今までどうしてございます。元帥につきましては再処理も含めた形のところで%という形のほうで当社のほうで設定している共通の事項でございますので、第1回目のこの左の赤で示しを解析結果のほうも提示しながら5%の妥当性といったところを、
0:42:18	説明資器材というふうに考えておりますのでよろしくお願ひいたします。
0:42:22	やっぱり
0:42:25	このステップになっていると次の資料2-1。
0:42:31	資料は資料番号耐震建物で。
0:42:36	提出年月日大手は3.4を交付する材料物性のばらつきに関する
0:42:47	またこれにちょっと後日ということを2月にですね。
0:42:57	これについては、中身が一定させてちょっと私のほうから、
0:43:03	1点ですね、今回のこの改訂版ですよ。マッピングされてる部分が非常に多くてですね。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:14	ヒアリング、これ6本使っていただけてますけども、やはり進める上でもし消火できること。
0:43:22	PDSでヒアリングの考え方については別途ヒアリングで確認してあって、そちらの考え方をまた改めていっぱい持って発注段階、
0:43:35	2なんですけども、この耐震建物の11、資料で改めて見てですね、あの公開して差し支えないというのが、どの部分にやっぱり説明をお願いします。
0:43:55	はい。日本原燃の永松でございます。マスキングの取りまとめ対応でございます。
0:44:01	今ありました件につきまして御回答いたします。
0:44:05	まず今回この反映耐震建物受注資料でございますが、これにつきましては先般、2月19日にですね。マスキングの対象マスキング方法、こちらについてですね、御説明した際に規制庁殿から御
0:44:23	いただいたコメント、こちらを踏まえましてですね、今は特に海外企業の商業機密に関わるでしょう。これらについてですね、改めて整理しているところでございます。
0:44:33	特にこの海外企業のもので、商業機密に関しましては、
0:44:37	いわゆる技術点契約こちらによりまして、技術手元の所有する権利を両方にするための出席義務が課されてございます。当社としてですね、過去の経緯なども考慮した慎重な判断が必要と考えてございます。今この資料につきましては、も含めてですね。
0:44:55	2週間をめでに先般浅い説明する旨をですね、お伝えしておりますので、
0:45:01	本日いただいたコメントも含めましてですね、マスキングの取り扱いについて、改めて御説明したいと考えてございます。以上でございます。
0:45:11	カミデです。
0:45:13	今、現時点ですね、資料の資料、ヒアリング説明上で、こういうものはありませんという回答をいただきたかった。
0:45:26	もうそういう説明ではなくて、結局また整理をして改めて
0:45:31	いうことでしょうか。
0:45:35	日本原燃の長尾でございます。はい。今申し上げた通りでございますが、この件も含めてですね、全体として、マスキングの内容についてですね、改めて御所ご説明させていただきたいと考えてございます。以上になります。
0:45:50	少しだけ踏み込んで話をしたいんですけど、例えば30ページ。
0:46:00	ページの記載というのか、なぜその海外企業商業機密
0:46:07	いうものがよくわからない。
0:46:08	もうちょっと説明いただけます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:14	日本原燃の永塚でございます。30 ページというところにつきましては、地震応答解析結果ということのないようにと承知しております。こちらについてもですね、具体内容という意味では、中に、
0:46:29	についてですね、どこどこまでマスキング云々という話につきましては、
0:46:35	すいません或いは整理をしている最中でございますので、改めてご説明させていただければということですか、ちょっと今日はお答えできないということをご容赦いただきたいと思います。以上になります。
0:46:49	規制庁ありました。
0:46:58	そういう形であれば、
0:47:03	双方今現時点では、
0:47:06	これてるところは発現しないとして話。
0:47:13	言って、
0:47:16	すべてっていう趣旨のほうから、やっぱり
0:47:20	ですね。
0:47:24	これ、
0:47:25	ロジックペーパーなるものであれてるんですが、
0:47:30	ちょっと位置付けが不明やはり不明なもので、
0:47:36	どういうものかっていうのを確認させていただきたいんですね。
0:47:41	まず材料物性のばらつきっていうのは適切に考慮されており、本設計やっぱりC委員会。
0:47:50	適切にこうですなんていうのでこれは基本的に守る方針だ。
0:47:58	地震方解石経営資源等の計算書では、基本ケースのばらつきを考慮してない地震力による応答を代表で示して、
0:48:12	この資料は基本ケース以外のばらつきのペースでそれぞれの結果も示すものです。
0:48:20	一方で参考として、ばらつきとして考慮しないですナカガワでCの実強度、
0:48:26	1 といったものを考慮したケースを添付して、それは考慮してないことの妥当性を確認したというものを持っているんですが、その点認識でしょうか。
0:48:42	いよぎん統合してございます。今ほど久米さんからお話のあった通りでございます。基本的に施行に図書におきましては、材料物性ばらつきといったところで一番ですけどもばらつきに関しまして、考慮するという形にしてございませすその他の一番下のばらつきに関しまして設工認図書におきましては、
0:48:59	基本ケースといたしまして中央値に対しての応答結果のほうを記載してもらいます応答のばらつきに対しての、この地盤物性のばらつきの結果につきましては、本日の補足説明資料の中にその結果のほうを、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:16	記載させていただいております。ただし、耐震計算書におきまして最終的に建物の評価に用いる部分の評価といたしましては、先ほど御説明いたしました中央値の基本ケースのものとあとばらつきケースものこちらのほうを包含したような形のほうで耐震検討として、耐震計算書のほうにまとめてございます。
0:49:34	ですのでこちらのほうとしましては、地盤物性のばらつき部分の応答結果のほうを補足説明資料として展開してございます。
0:49:42	地盤物性以外のばらつきの部分といたしまして建屋物性のばらつきといたしまして、コンクリートの実強度及び剛性としての評価例耐震機器以外の補助壁を見た際の応答結果につきましては、例えば剛性の方が悪いほうの結果になりますので、
0:49:59	こちらのほうは考慮しないものとしてございます。しかしながらはこの部分といたしまして考慮しなくてもいいといったところの技術的根拠の部分の参考資料という形のほうで整理させていただいたといったところ、この検討資料の位置付けとなっております。以上です。
0:50:15	えっとですね。そういったことが
0:50:20	ロジックペーパーでもよく読め資料だと思ってやめられ、
0:50:24	いう状況なので、その点ペーパーを説明のサマリーとして見てるだけなんですけども、資料作り込む際には、その点はきちんとわかる。
0:50:38	記載のほう、お願いします。
0:50:43	日本原燃通してございます位置付けのほうを明確に記載するような形で対応させていただきます。
0:50:49	設計部になった点だけ細かい点をページ目側のほうポート部分。
0:50:58	建物構築物としてパック建屋温度はいっぱいです。
0:51:04	いう記載になってこれを、おそらく今同等の扱いとか、前回のヒアリングっていう話で、その点のコメントを踏まえた際になってますね。
0:51:21	これは入らないんでしょうけど、資料廃止
0:51:26	はい。
0:51:30	丁寧に検討してございます。道路につきましては現在前回のいただいたコメントを踏まえて建物構築物という位置付けの中での数字なのか、屋外重要土木構築物を行ったところでのPd体系なのかといったところを教養体系を含めまして、よく機能も含めまして、
0:51:48	再度当社のほうで整理しているというような状況になってございます。現状こちらのほうの資料を展開する際におきましては、建物構築物という枠組みの中でどうしても将来的に展開していくということも考えておりますけども、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:04	どうにしましては個別で第2回申請以降です。ね同様な形の方で地震応答に対する対応の物性のばらつきというような形のほうで提示する予定になってございましたので、現状こちらのほうの記載といたしましては、こちらのほうに記載させていただいております。建屋と屋外地層こちらの方を対象としまして当該資料のほうをまとめてございます。
0:52:24	以上です。
0:52:26	そうなると労働というのは、
0:52:31	第引っ張りのこの説明の範囲では説明できない。
0:52:37	結果として、
0:52:39	例えば2ポツのばらつきの考え方みたいなところから労働は津波ということ、
0:52:59	日本へ移動してございます。ちょっと第2回目申請以降どこで再整理しているところではございますけども、基本的には地盤の物性のばらつきこちらのほうにしましては地盤モデルの部分でのばらつきになって参りますので、共通事項というふうに考えてございます。
0:53:16	その他の材料物性のばらつきのうちの、こちらの建屋物性のばらつきみたいな形のほうでの実強度であったりですね。建屋剛性の部分については、ここはこういうふうな話になってくると思いますので、この部分としましては第2回目以降の申請の中で個別展開をしていく事項というふうに考えてございます。
0:53:35	第1回でどこまで説明第2回の報告というものがまだ明確になっていないという
0:53:47	この資料直す再処理後代表性網羅性の終了。
0:53:53	そこでも説明します。
0:53:56	いうことで
0:54:04	要員でございます。日本の当初でございます。
0:54:07	ちょっと堂々の取り扱いにつきましては再度整理させていただきまして、その他の資料二倍しましても整合をとるような形のほうで再整理させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:54:21	同等のあったわけでは、
0:54:24	建物構築物というものに一体どれだけのものが入っているのかというか、そう認識なんじゃない。
0:54:34	争点から
0:54:38	説明をお願いします。
0:54:40	例えば冷却塔の支持構造物に至ったのは、構築物やっばそういうことも聞きたい。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:49	あとは排気塔ですね、その辺を部長で整理するというのが言えないので、そういった観点で整理をあわせてやっていただいて、設計方針に
0:55:05	はい。限定するのがきちんと決定する範囲外のものについてはここで説明しますというような形で
0:55:14	整備を進めていただければと思います。
0:55:18	はい。
0:55:19	両面に通してございます。今ほどのお話のありました。洞道以外の部分の排気塔であったり、屋外の冷却という方向であったりですね集まり学校等もございますので、それに対して、
0:55:31	建物構築物の整理なのか、
0:55:35	設備的な成果のかということに関しまして、作成した形のほうで御説明したいと思いますのでよろしくお願いします。
0:55:45	整理はもうされていて、資料に表現するわけですけど
0:55:50	ちょうど冷却塔の支持構造物どちらでも成立。
0:56:16	規制庁感じです。日本原燃来てます。
0:56:22	要因でございます。聞こえてございます。今神谷さんのおっしゃってるの冷却塔、
0:56:27	の支持架構とP冷却塔自体、
0:56:31	冷却塔の水位はこうなのでこのフレームっていうのは、政府、
0:56:46	結果、
0:56:48	日本原燃大久保でございます。冷却塔本体は、学校部分も含めまして機電設備として評価を実施して、
0:56:57	いるという認識でした確認はしておきます手帳今月そちらの申請書計算書を見る限り、起電側で成立性のSEの評価されていて、そう思ってますとSOPをいただけるかと。
0:57:14	タナカ施工といずれにしても、建物構築物、
0:57:20	という点から来設置さ、昔のほうから、
0:57:31	挙手。
0:57:37	長官ですとか、鉄塔は確認します。
0:57:42	規制庁キシノです。
0:57:46	3ページのほうですね。
0:57:49	このグラフに、
0:57:51	本資料は私について共通の考え方を示して御説明あります。今のカミデの指摘するものですから、資料で、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:01	本文で説明しているのは、時間申請も含めて全体申請当時する考え方としては、
0:58:10	一方でちょっと質問をしたいと思います。はい。
0:58:14	この制度は、
0:58:18	はい。
0:58:20	建物構築物の放水方向のばらつきとか地盤物性のばらつきについても説明されて、
0:58:29	建物構築物の剛性としてはコンクリートで、
0:58:33	ほとんど想定した基盤地震動ますばらつきについて説明するという事なんでしょうか。
0:58:40	ポスター申請以降も含めて全体を正と。
0:58:45	ここで説明する項目というのは、
0:58:48	それで、必要なものが戻ってるそう。
0:58:53	例えば先行と下の通りとか、そういうそういったものを入れてると思いますけれども、例えば等にですとセックの周辺地盤フルード不要なものについては改良地盤のほう法制の取り扱いを検討しております。
0:59:11	うん。
0:59:12	ちょっと今担当についての
0:59:15	一方ですが、
0:59:18	設置のばらつきの検討に加え、
0:59:22	説明書ちょっと思いますけど。
0:59:26	今回、
0:59:28	耐震性もとしてこういった検討は必要な項目、
0:59:34	網羅されていることをされてますでしょうか。
0:59:41	いう野村橋でございます。先ほどご指摘いただいただけまずこのこの資料はあくまでも
0:59:49	基本的なばらつきを終えと影響因子として何を考慮する買った観点では選考になって網羅できていると考えております。
0:59:58	それに委員会に東海第2でやったあの地盤改良である部分があるとか、そういったものも個別個別の施設ごとのローカルな地盤モデルの影響に関する
1:00:11	個別なものとして、このばらつきにさらにもう一つの要素として、現位置で見べきものがあれば見るというスタンスだと思います。それぞれの評価する施設によってそれは変わってくると思いますので、先行炉の何から
1:00:28	今あるものを追加で見てたから、すべて取り込むっていうものではないと考えております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:36	はい、どうぞ。
1:00:38	日本原燃富樫でございます若干補足させていただきます。先ほどの冒頭のやっぱりカミデさんの汚染源のところの定義として、この資料の適用範囲っていったところがベースになるのかなというふうに思っておりますので、本日の整理としましては、基本的にこれ建屋と屋外基礎、一方対象としての整理になって、
1:00:58	ますので、いつもねその部分で、建物構築物の範囲っていたところがですね少し広がってきたりする場合におきましてはちょっとこの部分の計算書の項目自体のですね記載の仕方をですねやはり
1:01:13	現在の建屋トーク液相これ限定したものでございますのでそちらの方がより明確になるような形のほうで整理させていただきたいというふうに考えております。
1:01:23	6でした。
1:01:25	この資料の位置付けが時及び大規模を
1:01:30	集計の方であるという説明を理解しました。その本当のほうで、先ほど
1:01:38	増加分についてはいろいろあるけれども、今言われてたんですが、
1:01:44	するのは、号館こう近い申請事項。
1:01:48	施設の計算書などの中で説明された。
1:01:53	もしくは、
1:01:59	読売の投書でございます。現状建屋等屋外地層の整理としましては、基本的に今回展開させていただいている地盤物性のばらつき及び材料物性のばらつきといったところが基本的な部分になってございまして先ほどビジョンさんからお話のあった。
1:02:18	と屋外の改良体の位置付けであれば等々関係とかですねそういったところでの整理になってくるかなというふうに思っておりますので建屋等国外規則に関しては、今現状のほうで記載させていただいている部分の材料物性のばらつきといったところが変更みたいな見直しの中でもですね。
1:02:37	見るべき事項という形のほうで当社の方と話しているところでございます。
1:02:46	ちょっとカミデ
1:02:48	今先ほど言われたらやっぱりな事項ということの中にちょっとなかなか
1:02:54	これがですけど、建物構築物、
1:02:59	建物と屋外で今説明が悪い所ローカルが発生するということですか。
1:03:13	非常に当初でございます。
1:03:16	建物構築物の建物と屋外基礎に対しては、
1:03:22	現状そういったローカル事象といったところはないものとして、
1:03:28	現状を整理してございます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:31	まずそれであれば、規制庁紙も、
1:03:37	基本設計方針でちょっとばらつき考慮しますってことに対して、どうやって適合性を説明するかということについては、ローカルもとってもあまりなっ
1:03:49	律速説明される必要がありますので、第1回のところで、建物を加えたことを言うのであれば、まずそこに一般しては
1:03:59	はい。
1:04:00	どうどうについて一部分で
1:04:05	どう強化することをどう特有のものがある。
1:04:08	いうのであっても、その部分/こういう方法についてまとめてですね、こういうものがありますというような紹介はこの資料をやっぱりきちっとしました。
1:04:19	というような形でこの資料にするのか別にしてもらったんですけども、きちっと代いっぱい申請の説明の中で説明するように、
1:04:34	日本原燃投資ございます。整理を含めた整理のほうをきちんとするような形のほうで
1:04:41	対応したいと思いますのでよろしくお願いいいたします。
1:04:48	部長キシノです。
1:04:50	説明の時によって建設について、
1:04:56	1の資料ということで説明してちょっと1本ページのほうも、
1:05:04	残高及び建物構築物の耐震評価によって例えば物性のばらつきを考慮しない。
1:05:11	はい。
1:05:13	これも切り捨ててしまっているんですけども。
1:05:18	そうすると、例えば以外の施設。
1:05:22	事故シーケンス膨れて見せて欲しいんつき方ですね、施設という
1:05:31	そういったことを検討してくると。
1:05:36	結局、今度これ切り捨ててしまうような
1:05:41	これで見ますと、この本体申請していった検討が
1:05:45	決定するっていうのはできるんでしょうか。
1:05:51	はい。
1:05:52	日本原燃通してございます。こちらのほうの建屋物性のばらつきに関しましては、ちょっと私どもとしましても、選考の過程の3の審査の状況のほうを確認させていただきまして、基本的に建屋物性のばらつきといったとこで考えられる要素としては、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:08	コンクリート強度とあとは耐震剛性として考慮しない部分の補助引きといったところが、建家別のばらつきとしての評価項目になるというふうにとらえてございます。
1:06:19	そういった意味で考えた際にですね、こう近い申請においてもコンクリート実強度といったところに関しましては、あの設計基準強度よりも高目になるといったところを確認してございます。あとその他の耐震駅の要素にパンしましても補助費等を考慮しつつあるにおいてはやはり、
1:06:35	構成がために出るといったところは確認してございます。そういった観点のところから法人化申請におきましても現状の評価のところの建屋応答としては保守側の安全側のほうに移るといったところを確認をもってですね、建屋物性のばらつきとしましては、
1:06:51	考慮しないとといったところで、現状の記載させていただいているというのが当社の認識でございます。
1:06:58	職種の特性の考慮しないこともおっしゃって、
1:07:04	この資料4。
1:07:07	一方で考慮したんじゃないかというのは考えられまして、変更サンプル
1:07:17	もう
1:07:20	もしくは建屋、
1:07:22	公募すると思ってるから。
1:07:27	ポンプの関係で、
1:07:32	対策所、
1:07:35	それも含めて、先般ポンプについてはふうじゃないかと思っていないっていうのもちょっと
1:07:46	ちょっと、
1:07:55	りゅうぎんの浦邊でございます。ちょっとご指摘がちょっとちょっとふわっと多かったという私の理解しかちょっと難しかったんですけども、実強度で設計するようなものはないかという理解でよろしいでしょうか。
1:08:12	本当積み立ては御通水ブロックと考慮しないといたして窃盗設計基準強度も保って暴走とか、
1:08:21	それと考慮することが
1:08:25	ないような説明だったと思うんですがそれが成り立たないようなものがあるということで、
1:08:31	きちんと時配管系のものについて文書法制の例えば系統に支持されている場合の方法等を取り組んでいるかと思えますし、そういった理由として説明されたその日が適用されない。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:46	もう織り込み済みとされてちょっといろいろそれできることということです。
1:08:53	わかりました。
1:08:57	病院等詳細ご趣旨は要するに引き金の応答のような観点のところでのものて考えた際に、ここのところで、
1:09:08	本当に考慮するものがないのかというような御指摘かという形で理解いたしました。
1:09:14	ちょっと我々の今現状の整理としましては、今日のご説明させていただいている部分の建家応答に対しての影響という因子のところでの整理させていただいている部分もございますので、ちょっと気側も含めて、その部分での
1:09:30	として少し影響があるようなところがあるのかないのかっていったところに関しましての少し着眼点のところ不足しているかというふうに考えますので、ちょっとその部分に関してはちょっと置き方と相談しまして、の一記載の仕方っていったところ、現状の記載のほうがよろしいのか、そういったところはちょっと
1:09:46	再度聞き方とも相談した上で
1:09:48	資料への反映といったところ及び今後の対応につきましては、適切に対応させていただきます。
1:09:56	はい。
1:09:59	検討した話ホームグループは、
1:10:08	これ、
1:10:09	はい。
1:10:11	はい。
1:10:12	最初のところもありますと、この選定する際に、
1:10:23	運営に通してございます。
1:10:25	動くいたしましたちょっと確認をいたします。
1:10:29	1. 設置については、大不動
1:10:35	御説明の中で、今回の
1:10:41	ばらつきの影響などをかぶった形で今後損失補償についてなんですが、アボ耐震計算書の中で、基本係数茨城方式を包絡した形で、
1:10:57	計算結果を示しますといった説明があったかと。
1:11:01	今回の資料にそのWtを踏まえてもおいしい計算書の中でどういう方。
1:11:10	評価をしてくれる日報として生かしていくことが決定できるように、先ほどのカミデ = 資料の位置付け、定期的に起立を4月に不十分であって、報告のばらつきを添付して、新しい
1:11:28	評価といった形でいって、
1:11:31	反映していくのかといった、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:33	設計の流れ今回ここに聞いてみる必要も超えていただきたいと。
1:11:37	先行サイトでできるという。
1:11:42	記載されており、解析効果もフローなどを用いて使っていただく一覧になって、それらをなかなかですね、本資料の中でもそういった説明を行っていきたい。
1:11:55	はい。
1:11:59	いや、それと賀祥ダムご趣旨いたしましたので、この横断石化し評価の中での考慮の仕方等につきまして、展開するような形で対応させていただきたいと思えます。
1:12:13	ちょっと、
1:12:18	規制庁八バサキです。よろしいですか。
1:12:21	まずこの資料をざっと見させていただくことにより、議長から下というのはですね
1:12:29	先行の同じ資料に比べてそういう印象を持ったんですけども、5ページに建屋のばらつきと地盤のばらつきという説明があって、以降、その応答結果、ずっと続くわけで、
1:12:46	他の先行機の資料を見るとやはり建屋ハタケヤマのその挙動ばらつきだとかですね、ある程度ばらつきについて説明があります地盤についても同様ですが、1個前を範囲になるっていう出てますんで、今の資料ってそれはもう、この資料。
1:13:02	それから日聞いてくださいみたいな形になっていくという所ですが、ちょっとこれは体裁だけの話なんですけれども、こちら辺を少しばらつきについての情報をするというはまenseんでしょうか。
1:13:26	日本原燃強度でございます。
1:13:28	等のばらつきの答弁といたしますかナカガワ部分についてちゃんとも期待するようにいたします。
1:13:38	規制庁阿部です。あとはちょっと事実関係で二、三点、ステップたいと思えます。今回東京ドームが増えたのですけれども、ばらつきの話なんですけれども、今日のとり方のお話なんですけれども、スポーツGの前のページの
1:13:55	実績だとかあと
1:13:58	目的と出せるものとして歩道の平均値をとったんですけども、今後、再処理施設ってというのはトータルの施設として工事コンクリート実強度ってというのは、広報の施設の実測値、
1:14:13	を採用していくという、そういう理解でよろしいですか。
1:14:21	今後も

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:22	日本原燃強度でございませませんが、おっしゃるようにここ建屋の実測値不について実強度を算定してフチノを使ってる使っていくように考えておりません。
1:14:35	ちょっと八バサキ了解しました。
1:14:38	それとあと、これ今お話もあったんですが、特にプロジェクトに関しては、分類として分類としては、
1:14:50	含まれるという中で、今このばらつきのこの資料に関して配管系の話が目次にフクダない状況ですけれども、今後この引き合い暫定についての資料のつくり込みっていうのをここに追加されるという、そういう意味でですね。
1:15:20	その上の行でございます。冷却塔の本体のいわゆる起電設備の部分の物性値のばらつきについては、これとは分けて別資料で機電側の資料として提出する予定でございます。
1:15:37	本当チダ上です先行P / 実用炉ですけれども、時事故スペクトルで包絡してるようなものを比較しているものもあれば一番一番入ってるような
1:15:48	ただ、この資料のためのフェア一般性のばらつきの影響ってというのは、項目としてはあるかなというふうに考えておりますのでその中でもちょっと必要に応じて社長さんが
1:16:04	よろしいでしょうか。
1:16:06	はい、2億円オオクボでございます承知しました。
1:16:09	では選定等、
1:16:11	すみません、規制とか、
1:16:12	今の八バサキの
1:16:18	私が出席したのは、建物構築物のバランス
1:16:26	起電等に与える影響を
1:16:30	経営がどうなってるんですよ。
1:16:34	のではということをつくっされたんですかね。
1:16:40	規制庁阿部です。私見てるものはですね、ちょっとPのPと投入の同じ資料、
1:16:47	今ここで見てるんですけれども、このばらつきの大同物性のばらつきの資料の中で、最後に、配管系のばらつきの影響ということで、先ほども申しましたように等に関しては作ってるが、
1:17:04	鉄塔は終わってるっていうのが出てわかりますに関しては、
1:17:11	そちらのほうを参照してくださいって一番が入っているわけで、
1:17:16	いずれにしても、機器配管系ってというのは困難。
1:17:21	ここは入って上がってないってのが全国といったとしてどんなもんかなという、そういう印象です。はい。だから、やっぱり一般系への影響、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:31	その他設置法減免の答えが筆記配管系の計算においてどういうばらつきを強化するかっていうのは別資料でと言っているのかなというふうに私はこう言っ てまして、一応今日提出っていうの耐震遺伝 10 番という
1:17:50	資料だと機電側の 10 番ってないです。
1:17:56	以前からの十一番の資料があって、そこで、そのデータとかの材料物性のば らつきについてあるのかと思っていたので、
1:18:07	以前側への影響へのばらつきの話とか伝統自体のばらつきの話を別資料とし て入れますと言ってるのかちょっと食い違ってるように、日本原燃のいっぱい です。
1:18:22	日本原燃大久保でございます。すみません、ちょっと言葉の使い方が不適切 でした。機電側への影響ということで、本日提出する資料でまとめてございま す。
1:18:35	遺伝側への影響ということで、
1:18:38	説明する。
1:18:40	いうことであるとかそうそうなんですね、規制庁カミデですけど、機電側の要は 機器配管系自体も、その材料物性のばらつきっていう説明のほうですね。
1:18:53	それはその資料は追加される。
1:19:05	旅行でございます。少々お待ちください。
1:19:45	そう。
1:19:51	はい。
1:20:16	その上にオオクボでございます。すみませんお待たせしましたしておりますが、 すみませんちょっと今、
1:20:22	どう見て即座に確認できない状態でございますして申し訳ございません確認し て、別途ご連絡したいと連絡したいと思います。
1:20:34	規制庁加熱わからせよろしく申し上げます。
1:20:40	よろしいですか規制庁ハバサキです。最後確認事項なんですけども、
1:20:48	建屋等無線に関しては、先ほどty等ガラリけれどもティアワン 1 人の強度とか 剛性に対しての影響っていうのは、基盤なるということで、隻なんていうことで、
1:21:03	評価しませんっていう説明あったんですけれども、
1:21:05	いった実際そうは言ってもということでハッピー延長されてるんですけども。
1:21:12	地盤と建屋のばらつきの重畳に関してはどのように考えられます。
1:21:22	上下動してございます。ばらつきの検討といたしましては当社の今の現状の考 え方としましては各々方ばらつきといった形のほうで取られるというふうに考え てございまして、地盤物性等建屋物性の重畳といったところを考慮しないとい ったところで整理してございます。以上です。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:41	規制庁ハバサキです。ちょっと今の収益理解しましたけれども、先行のPサウでは確か重畳の検討しているサイトもあるかと思います。一応ですけども思っていますので、まずは必要。
1:21:56	それがあったという、それと、トリーに関しては、そういうケースも考えられているような例えば通りのサイト特性を踏まえて、それは違うと判断するという、それは実施しないという理由が書いてありますので、
1:22:11	今回も何らかもしするならそういうしないならば、被害理由、御説明が必要ではないかというふうに考えますが、総合点はいかがでしょうか。
1:22:26	以上が検討してございます。ちょっと
1:22:30	そちらの理由の記載につきましては、ちょっと今、潜航採算のの事例を頭に入っていないところもございまして、ちょっとそちらのほうを確認しつつですね当社で火山見た際に、°のケースに当たるのかといったところ、
1:22:45	考えまして、当社としての負のばらつきの重畳に対しての取り扱い破局的には教職現時点においては必要ないというふうに考えてございましてけどもそちらの部分に関しましては、計算していただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。
1:23:00	規制庁ハバサキです。
1:23:02	現在の施設いろんな施設があるということも踏まえてですね、必要ないと判断するならばその理由を
1:23:09	述べてもらいたいというふうに思います。
1:23:12	と思います。
1:23:14	私からは以上でございます。
1:23:20	規制庁コサクです。今の点で、
1:23:24	毎回申し上げるのも申し訳ないんですけど。
1:23:28	実用炉のほうでどういう議論をしていってそれに対応して最初に、
1:23:35	複数
1:23:37	これはどうなるかっていうのを考えて、
1:23:42	説明資料を作って、
1:23:44	説明してくださいねっていうこと等は、
1:23:48	ヒアリングでも何とも申し上げ、
1:23:51	それに応じて資料作ってきているところだと思ってたんですけど。
1:23:58	作業としてはどうなっているんですか。
1:24:02	そういうところが全部支援。
1:24:05	ですけど。
1:24:06	普通になったらその体制が違う。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:10	でしょう。
1:24:24	やはりオオクボでございます。
1:24:26	古作さん今ご指摘いただいたことは、他のヒアリングといたしますか私の方のヒアリングでも、
1:24:33	御指摘いただいているものでございます。実はいろいろ対応をしているところでございますけれども、申し訳ございません資料への反映という意味では横並びも含めて、また御提出させていただいている資料はそこまで追従できて、
1:24:50	以外のが実態でございます。かぶらカミデ早くということで作成要領も含めて今対応しておりますが、
1:24:57	ちょっといつと、ちょっとこの場でなかなか即答申し上げにくいんですけども、
1:25:03	少なくとも
1:25:08	これから提出する資料は、なるべく通要るして横並びをはかった上で、電力の先行の電力でどんな議論がされているかというところは踏まえた上で対応していきたいと思っておりますしませんが、ちょっと今日提出する資料はまだ
1:25:25	ちょっと追従できていない部分がございますのでございません。以上です。
1:25:30	規制庁コサクです。資料のキーは、
1:25:35	いいんですよ。
1:25:37	なんですけど。
1:25:39	その資料もできがどのレベルなのかというのがわからないから、我々としてここまでいいのかわからない。
1:25:46	いう話がもともとあった部分は、
1:25:50	ロジックペーパーというのをつくられて、
1:25:53	それを
1:25:56	位置付けなんかを
1:25:59	考えた状況を説明いただいて、その中で説明が、現状提出した説明した説明資料となりませんので、今後作っていきますみたいなことも、
1:26:12	そのロジックペーパーには×で
1:26:17	少なくともヒアリングするタイミングにおいては、先ほど言ったように、
1:26:22	電力でどうなっております知らないですよ。
1:26:26	それに対してどうしようと考えられないという状況は図としてあり得ない。
1:26:33	ですね。
1:26:35	資料反映は、
1:26:37	最終的にはいただきたいんですね。
1:26:40	まずはヒアリングで無人化ペーパーレベルでは、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:44	ちゃんと一種議論として今後どういう資料が出てくるのかどうか確認できる。
1:26:49	いうことにはしていただかないと、ヒアリングの意味がないんですよ。
1:26:55	結局、合理的なこちらから足りない。
1:26:59	審議して適用するっていうことになってしまう。
1:27:04	それでは、こちらの場合、
1:27:08	その点は、空間ですか。
1:27:18	やめておこうでございます。例えば耐震につきましては、耐震評価で基本設計、安全審査で約束した基本設計方針ですとか基本的な設計の考え方みたいなものを踏まえて詳細設計で何を展開して何を評価するかと。
1:27:35	いうところ上流から担当って、
1:27:39	設工認で補足説明資料として、最初、失礼しました。添付書類でなりを説明して補足説明資料で何を予測していくかという展開をちょっと改めて整理をしているところでございます。私に限らず他の条文についても、
1:27:58	上流からの整理っていうのを改めてしております。申し訳ございません。ちょっとその対応が後手に回ってございました。先鋭
1:28:06	補足説明資料の 不足なりがまだ不足しているのかっていうところの洗い出しを今、作業としてやっているところございまして、こういうものをまだそのプロジェクトペーパーを作る上で、これが足りなかった。
1:28:23	足りてないのかっていう議論もしながら社内で検討しております。そういう補足説明資料がまだ不足てる部分ですとか、今の整理では足りない部分というのは、ヒアリングで説明するときにこちらから先に
1:28:38	MAAP申し入れができるように、
1:28:42	検討した上で、
1:28:45	対応したいと思います。以上です。
1:28:49	規制庁コサクです。よろしく申し上げます。
1:28:53	はい。
1:28:54	参考にする電力として
1:28:58	柏崎、東海第2と言われてますけど、先ほど少し話があります。
1:29:03	PWRの先行例なんです。
1:29:08	それぞれの点で、
1:29:10	補足説明資料としてこのパーツのどういう趣旨なのかっていうのを一連聞けばですね。
1:29:17	少なくともその項目がなにがしという意味で必要なのかっていうこともわかるわけですね。
1:29:24	その上で、最初でどうするかは検討しない。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:29	少なくとも項目が、
1:29:31	どっかっていうこちらないってことだけは、
1:29:34	そのロジックペーパーの中で必要な項目をかける。
1:29:39	そうですね。
1:29:40	学んで、
1:29:42	やはりにあたっては、このレベルにまでは、
1:29:56	保険でオオクボでございます招致パラスタ
1:30:03	そう。
1:30:05	規制庁古林です。先ほどのご指摘ばらつきの重畳の関係で補足させていただきます。
1:30:13	先行のPでAと重畳見たってという実例があるということなんですけれどもそれ多分BWRの外部遮へい建屋単純な一対の貸し引きしかないとびあの減衰はそばの見れるんじゃない僕が取れないんじゃないかということで3%。
1:30:28	の上で不確かさということで、
1:30:31	地盤のばらつき重畳したってというケースもございます。ちょっとペーパーでくしてございます。
1:30:39	借上期間もそのような検討でやっているっていうのを確認してございます。それを踏まえまして、今回、当初の建物は与党複雑な建物というのは、先ほどの減衰のほうの一つでも説明しました。それとあわせもって言わんところ通じ重畳考えるべきものはないというふうな
1:30:59	認識でございます。その点明記させていただきたいと思います。
1:31:05	委員長はべきです。次回以降の収集対象の質が網羅的に今のようなお話があったのかどうかちょっとそこら辺はやはりあります。
1:31:18	移行する説明をお願いします。
1:31:25	規制庁、古作です。今の説明で、
1:31:29	ちょっと全般の話をしていくと。
1:31:35	電力なり先行での状況は把握した上で、
1:31:39	原燃においては、これだから違う。
1:31:42	ていう考えはあるんです。
1:31:46	そのときに、だから説明要らないんだろうっていうふうに思うんですか。
1:31:51	これまでの資料提示多くありましたので、
1:31:55	そういう項目は全部
1:31:57	もうだから、
1:31:59	説明説明いただいたんですけど、対応がいないということ。
1:32:06	まとめておいていただいたほうが、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:09	コミュニケーションミスがあって、ヒアリングができるんじゃないかなと思いますので、本件に限らずですね。
1:32:17	なるべくそのロジックペーパー一言書きつつ、今後、補足説明でどうして良かったことをまとめていただければと思います。よろしくお願いします。
1:32:36	日本旅行でございます承知しました。
1:32:43	委員長としてですね。
1:32:44	そうします。
1:32:47	ちょっとコメントとして、
1:32:52	今回の資料の方と一緒にしておりますので、耐震性すべて含めてっていう。
1:33:01	用意するっていう形にさせていただきます、設計、
1:33:07	それは現段階で申請について抽象的なもんですかって言うていけるものならば、そういった方の発生店舗ピットとそれに
1:33:25	もう一つ、
1:33:28	それともう、
1:33:30	方針として線量をITタケダ。
1:33:34	よろしいですか。
1:33:42	何ゆえに同調ございます。了解いたしました。
1:34:00	規制庁のタケダですけれども、
1:34:02	私からもう1点確認させていただきたいんですけど、やっぱドライブードから定例ポンプパブリックところもあるんですけど。
1:34:12	5 ページ目の一番ってばらつきに関するところで、
1:34:20	結局持ち上がって波パラグラフのところなんですけれども、地盤剛性のバラ情報ですけれども、レポートで、
1:34:28	地盤のばらつきを考慮することで、
1:34:31	解析のモデル
1:34:34	どういった範囲、これが影響するのかっていうところをしっかり行っていただきたいというふうに思っております。
1:34:41	具体的にどういったところで、
1:34:45	解析モデル変更が生じるのかという口頭で御説明効果的ですよ。
1:34:55	。
1:34:57	日本原燃の福原でございますが、地盤剛性のばらつきは解析に与える影響ですけれども、建家モデルのですね、底面ばねの丸い頭数側面地盤ばねのばね乗数、
1:35:09	一番工程わかりますので、入力地震動
1:35:12	建物に入る入力地震動に提供します。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:20	わかりました。建家モデル含めて、一般になるというところを理解してこういったところ、やっぱりにくいところがあるので、具体的にいつするように思います。
1:35:31	はい、承知いたしました影響範囲についていたします。
1:35:36	私からは以上になる。
1:35:42	消火水規制庁側からありますでしょうか。
1:35:48	はい。
1:35:52	なければですね、次のようにっていう
1:35:55	それでヒアリングを始めて自粛移住してますけども、
1:36:02	これ、資料1件のチェックも持ってきてますけども、今回、
1:36:09	了解いたしました。日本原燃大丈夫でございます。
1:36:12	わかりました。それではですね、資料で資料ポンプと耐震とっても18ページの年表でございます。
1:36:23	ヨーロッパで設定。
1:36:28	企業いっぱいありますって、これも事前に確認をしています。日本原燃補足で説明したい事項があればお願いします。
1:36:42	日本への投資がございます。こちらの資料といたしましては応力解析の断面としまして今一番検定比が厳しい部分の応力の部分を私のほうに展開している旨を記載するとともに、防災の応力コンターのほうを提示しているという資料になってございます。
1:36:58	特段こちらの資料につきましての補足はございませんので、よろしく願いいたします。
1:37:04	規制庁、川です。
1:37:06	それでは規定としては、
1:37:09	まずこの資料が、これ単体で出てきてるんですけど。
1:37:16	この評価対象建物構築物が持っているのは、その機能維持のためという評価を行うというような資料が、これ単体だけではですね、名ずに
1:37:29	読めないなので、その辺をきちっと全部記載するですとか、もしくは資料にですね、してこの位置付けがきちっとわかるような形で資料を
1:37:45	そのってことでしょ。
1:37:49	はい、日本原燃の澤邊です。この登録解析につきましてはメイン化添付しる添付書類のほうでのですね計算書のほうで先ほどおっしゃられたようなその機能に対する評価をこういう内容といったところの記載はしておったんですけど。
1:38:09	そこの関係というのがよりですね、こちらの補足資料のほうで追記させていただきたいと思います。
1:38:19	カミデですよ。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:22	基本的には本文側に共通的な考え方っていうの別紙側にその詳細は個別の詳細という形だと思いますけども、今回片側にやっぱり裁判ですので、その実際ずに、
1:38:38	また別紙の内容自体もですね、先ほどの資料へのコメントですけど、実用炉では、どこまで説明しているというのを見ていただい
1:38:52	最初にどこまで
1:38:55	その必要は端的に言うと、単純な比較という説明が不足しているような仕組みを作って、その辺きちと確認した上で、
1:39:06	資料ですけれども、行うとしてください。
1:39:13	日本原燃の菅原です。こちら資料作成に当たりましては、潜航もですね、炉則両方確認した上でですね、必要な記載というところで資料構成のほうに反映して色という考えではございます。
1:39:40	カミデです。
1:39:44	例えばですね、停止中に、
1:39:49	で、燃料加工建屋の最大となる。
1:39:55	コンターと示されてますけど。
1:39:58	これ以外にもっと判明は改装いろいろ一般弁とあるんですけど、これだけ抜き出して、
1:40:08	日本原燃の菅原です。今ほどおっしゃられた端面とおっしゃっているのは、
1:40:17	今のこちらのほうで面外せん断力についてのコンターを記載しているんですけども、その辺の力に対してというようなよろしかったでしょうか。
1:40:28	はい。
1:40:30	えーとですね、その人間の菅原です。時極東例えばモーメントをにつきましては、
1:40:40	その件提出費用ですね、19ページのほうで一通り日加工した上で、耐雷区の検定比を出しているものが今回よかった点につきましては、面外せん断力となっておりますので、こちらのコンター図を期待していると。
1:40:59	いう考えになっておりまして、系統が起こっている部分の考え方というのは、先行のこの記載も確認しておりますが、と同じような考え方で、その最大の検定比といった断面について記載しているという考えになってるか整理しております。
1:41:20	本日この辺ですね、どういう評価全体でどういう方向で最終的に
1:41:30	どの部分をコンターで表してその中からこういうものを指名示せばいいのかといった考え方が、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:40	本資料が取れないので、その辺りが本文番の記載があると思いますけど、検討フローの考え方の中で自立可能性もあるという。
1:41:52	次お願いします。
1:41:54	原燃菅原です。はい。ためようご指摘承知しました。その考え方のところ、今度のほうにですね追記させていただきます。
1:42:05	。
1:42:07	はい。
1:42:08	私の方からとりあえず以上です。他に規制強化を行ったんでしょうか。
1:42:14	ちょっと一つだけ。
1:42:16	今話冒頭から多様にある耐震計算上、
1:42:23	国道からの資料の位置付けで、例えば耐震計算書では、いろんなほかの応力状態になっているかと思ってた上で、この非常に人は先ほど説明があって、クリティカルとなった。もう1点。
1:42:39	今回示してますっていうことがわかりますので、この基取り外し料と、
1:42:47	あみやき亭のですか、それがないとこれだけ今突き出し下げても、我々としては、例えば、同じく今の
1:42:56	こんな形で、例えばも満足の経験で、今のちょっと表現を使っていますか。
1:43:10	基本的にとらわれ数減って面外せん断につきましては終局耐力としております。
1:43:19	アウターライズの式を使っていると思うんですけども、もう沸騰そこらへんまだちょっと適用性について、審査といえますか。種類等してない状況で、これが8倍もですね。
1:43:34	こうしろって言われるっていうことをコメントできないので、そこら辺はやはり治療出す順番も余ってもらいたいという。
1:43:43	それで、ちょっとすいません、もう一遍、これも記載の問題なんですけれども、背景が例えば13ページの結果
1:43:56	22ページに出ています。
1:43:58	これは、
1:44:01	平面的にはこれ全く一緒なんです。
1:44:04	やっぱりバックホウ、
1:44:09	日本原燃の菅原です。排気人数につきましては、当規定が法理によって若干異なる部分もございまして、こちらの既設工認ああ失礼しました平均化のほうで記載している段目のほうから
1:44:28	断面方向の部長がわかるものということで今回示したものとなっております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:36	それとハラダと先ほど現行の技術イエローごさい込みの復帰県立けども、この一般構造実用炉って平面的な配布員の分布だとかですね、その後導入は廃棄できるのか、そういったものも資料として、
1:44:53	この資料の中で出てますので、本資料に対して
1:44:58	神戸の心配をフルカワないっていうね、ちょっとはっきり均衡費用の両方が本当に品等が入ってるかどうか、それはちゃんとアピールをやり上げています。
1:45:12	よろしいですか。はい。日本ですが終わらです。確か記載している項目としてはあるんだけどその中の中身ですね、情報がということの御指摘だと思いますので、そうだったり、資料のほうにある追記させていただきたいと思います。
1:45:31	それとあわせて交付の応力状態とその配布の移設がフジノのほうですけどそこらようになってますところに情報ください私は思います。
1:45:46	日本原燃菅原です。承知しました。
1:46:01	えっとですね、ここで競合からCです。
1:46:06	規制庁コサクです。
1:46:08	これもオオクボさんにお聞きしたいんですけど、マスキングの整理っていうのはこの資料だとまだできてないっていうかですね。
1:46:18	それともやった上でですね。
1:46:21	日本原燃の項でございます。マスキングの整理についてはまだこちらの資料については、再最適化できてないといえますか。
1:46:30	まだまだです。はい。
1:46:34	わかりました。ちょっと広いので、
1:46:38	できるところは、
1:46:41	はい。
1:46:42	はい。
1:46:46	基本的な考え方わかったら、ぜひ化したものっていうのは、
1:46:52	どんな感じで。
1:46:54	この資料をまだできてないんですよということのレクの何曜日ていけばいいんですかね。
1:47:06	土佐日本原燃の永松でございます。この資料につきましては2月17日ですかね、提出されたものと認識率、その時点でスクリーニングの考え方についてですね整理をしていったところですが、
1:47:21	先ほどと同じ論調になって申し訳ないんですけど今まさにまず聞くのですね、対象と高高ですねそこを整理している最中でございますので、資料も含めてで

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すね、ちょっと改めてそのマスキングの取り扱いについて御説明させてきていただきたいと思っています。
1:47:38	以上です。
1:47:40	規制庁塞ぐですすみません資料ができないというのを、
1:47:45	なってきたないんだというつもりでは
1:47:48	マスキング
1:47:52	考え方っていうのは、こないだ向き合って考え方を関わった結果、
1:47:58	あのもともとからそういうつもりでしたっていうことであつたので、
1:48:02	当然ヒアリング前の提示でやっているものをやっているんであろうという想定のもと、
1:48:09	どういう状況ですかということでしたです。
1:48:12	それでヒアリングでは、
1:48:16	実績を見せてもらって、
1:48:21	問題がありやなしやというのを確認しておきましょうということだと思うんですけど。
1:48:27	どこの何を見ていけばいいんですか。
1:48:37	日本原燃の中津でございます。今の御指摘あったところについては、項目票の項目等のみが記載されており、中身についてはすべてマスキングされているところの箇所についてのことと御理解してございます。はい。
1:48:55	規制庁トラベルこの資料をいつどういうふうに見たらいいかということであるわけではなくて、
1:49:01	全体として、
1:49:03	どうも整理をマスキングの状況を見て行って欲しい。
1:49:09	ということで原燃は今後提唱してくつもりはなかったっていう全体として、
1:49:28	日本原燃の中津でございます。今お話あった内容でございますが、例えば明日からものを変えとか、そういったところのことだと思っておりますが、今まさに整理している最中でございます。そういう意味でちょっとお時間をいただいておりますのでその中ですね、今、すでにお出ししている資料も含めて、
1:49:48	ですすね、月の取り扱いに不備が不備等ございましたのでその辺も含めて御説明させていただいて、情報のうちですすねそこを変えていくと、そういったことも必要になってくるかと思っています。なので今日時点ですすね、どの指導についてこうだっていうのはちょっとまだ
1:50:04	センチでございますので、内容は控えさせてもらいたいと思います。以上です。
1:50:11	規制庁コサクです。
1:50:13	オオクボさんにお答えいただきたいんですけど。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:16	全部を見直す上で、
1:50:20	話をしていくのかももう一度やり直しになることもある。
1:50:26	何か効率的に作業するっていう概念は相変わらず原燃ないよするですけど。
1:50:34	何かでやるとかっていう等、
1:50:37	では駄目なんですよねオオクボでございます。そういう意味ではおっしゃるように先行事例といいますか良好事例を一つまず確認、我々がこういう形になりますというものを確認させていただいた上で展開するっていう
1:50:55	進め方が我々もよろしいと思いますので、
1:50:58	今までの資料含めて全部見直した上でっていうのは手戻りが場合によっては大きくなりますから、そこは進め方については、効率的に進められるように検討するさせていただきます。
1:51:11	規制庁、古作です。よろしくお願いします。前のヒアリングのときにはそういったところの進め方について指揮連絡くださいっていうようなことで進めたつもりだった。
1:51:24	いや、ちょっと認識がずれていったようなから改めて整理して、
1:51:30	と思いますが、試掘日本旅行でございます承知いたしました。
1:51:44	規制庁コンビやっぱり設計上は自然としてます。
1:51:53	ないようでしたら、日本原燃から、
1:51:57	本日の資料の対応スケジュールを簡単に説明いただければ。
1:52:09	日本でどうしてございます。まず元帥の関わる部分に関しましては、こちらあの今日いただきました内容としましての反映及び、特にA B建屋に対しての地震応答締め消火器について返していくといったところが大きな内容だというふうに思っており、
1:52:29	あとMOXの当初恣意的に刺激がこういったところも含めまして、疲労の海底の方が必要かというふうに考えてございます。
1:52:37	こちらのほうのA B建屋に関しましては指名シオン解析結果、本社のほうで今準備を進めているところでございますけども、それから最終的な修正等がございましてちょっとお時間を必要となって参りますので、3週間程度時間のほうをいただきまして、
1:52:53	海底試料のほうを対応していきたいというふうに考えてございます。
1:52:57	また材料の物性のばらつき等に関しても、基本的に、当初の位置付けと思っております。位置付けの期待等が必要となって参りますので、こちらのほうも
1:53:12	ちょっと他の案件もございまして、こちらのほうも優先させて進めるところもございまして時間としましては3週間程度いただきました予報的というふうに考えてございます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:30	あと、応力解析の断面評価の部位に対しましてはこちらのほうは現状の資料のほうに今位置付けの頭のほうを記載していくといったような事項というふうな位置付けでございますので、こちらのほうは、
1:53:45	対応ができてないんですね、速やかに提出のほうをしたいというふうに思っております。
1:53:53	スケジュール感は以上でございます。
1:53:58	わかりました。
1:54:03	この点規制庁側から特にはないです。
1:54:08	よろしければ、同じようにスケジュールの関連なんですけど。
1:54:13	政策をですね、全体が2月15日でD10%にも1ヶ月5程度でいくと3月15日だったとしているところです。
1:54:30	耐震に関しては、前は具体的な耐震ですと具体的な論点っていうのは、
1:54:38	一方ではなくて、
1:54:40	ということだったんですが、3月には何らか、
1:54:45	論点という
1:54:47	審査の内容っていうのは、
1:54:50	お話がに配るのかなというところなんですけど、日本原燃として何か考えでしょうか。
1:55:04	日本原燃の項でございます。
1:55:08	その3月の中の時点でどういったものがどこまで会合で御説明できるかというところはちょっと今後の進捗によるところがございますが、ちょっと
1:55:23	考えているのは、1月の審査会合のときに原燃から主な説明事項ということで、こういうものが原燃から説明させていただきますというのを1回会合でも出していますので、それに対する心配。
1:55:38	説明の進捗状況といいますか。培養と基本ロジックのペーパーみたいなものを会合資料向けに落ちたようなポイントだ企画だとか、そういう1月14日の審査会合でお出した項目に対する進捗状況です。
1:55:56	それから、2月の会合でお示した耐震でいうと、課題を少し上げさせていただいていますので、その課題に対する対応状況、そういったものを御説明するのかなと思っております。
1:56:12	提供で
1:56:15	1月の説明するというものを持って行って今現在、こんな形ですっていうのはあると。
1:56:23	その上で、例えば機器配管系は10経過について説明しますというふうなんですけど、今現在、説明がまだ始まっていない。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:34	言ってその辺の状況もやっぱりがされるのか。
1:56:40	惜しまずで、またですね 1月のほうに限らず、今までヒアリングをして、
1:56:49	いう進め方をしている中でいくつか失敗するというのもあれば、例えばですね、先週の燃料加工建屋の設計変更でこれは耐震評価をして、
1:57:02	サトウどういうふうに反映していくのかといった考え方。
1:57:08	もありますので、そういった
1:57:16	来週の耐震補強ありますので、もう少し具体的に
1:57:23	販売していただければと思います。
1:57:29	日本海動向でございます承知ました。
1:57:35	これちょっとコサクです。
1:57:37	今の点で、
1:57:41	コスト会議費千種回復
1:57:44	内容があまりないようか。
1:57:48	堺タジリてるのかみたいな、
1:57:51	普通、
1:57:53	本規定も含めてなんですけど、別途としてちょっと先輩しているのか。
1:57:58	審査会合っていうのはヒアリングの場でなく、
1:58:03	審査会合が政策課でやってヒアリングはその場合は防護区画というきつい過ぎない。
1:58:11	そう。
1:58:13	ヒアリングの状況とかいって、
1:58:16	検討状況紹介しますって言われていない段階ではありません。
1:58:23	なので、
1:58:24	カミデが言ったように、
1:58:27	論点となっているって、どういう対応をしているという。
1:58:32	ラインをちゃんと説明をしてそれについてこちらから技術的に問題とと思ってだったり追加できるっていう、
1:58:42	必要と思うところとかっていうのを議論していくというかなっていうふうにいたしました。
1:58:50	すみません。
1:58:51	それでもうまだ準備ができていたということは、
1:58:56	残念ながらあるようで。
1:58:58	そういったものについてはそもそもは8月の断面で説明してもらわなきゃいけないようですから、
1:59:06	なぜそういう状況になったが、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:09	今後どうするかという方針を
1:59:12	ていただいて、
1:59:15	事前に我々が出してください。
1:59:18	だから、
1:59:20	そっち側からどういうつもりで、
1:59:22	してくかっていることを言っていたきたいって思います。
1:59:26	その点で、耐震が一番ヒアリングとしては出ますので。
1:59:32	なるべく
1:59:34	代用として提出できるようにということでここ3週間しているいただいて、
1:59:41	介護ではこういう話した。
1:59:45	ちょっと言っていたいただければと思います。
1:59:49	よろしくお願いします。
1:59:51	日本原燃大久保でございます承知しました。
1:59:58	よろしいでしょうか。
2:00:04	基本ケースでもよろしいですか。特にください。
2:00:14	はい、それでは議長で本日終了しますと、やっぱりそのでした。
2:00:19	ありがとうございました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。